



香ヶ丘商店街を中心とした浅香山地区のまちづくり



DATA

- 主な連携先・メンバー
堺市堺区教育・健全育成会議(2020年4月1日廃止)/NPO法人 kokoima/
医療法人仁悠会 kidsClubルビナス
- 活動地域
大阪府堺市
- 活動期間
2017年度～継続中
- 活動資金
堺市と関西大学との地域連携事業(2018年度～)

活動の目的

大学と地域のつながりを商店街のみならず浅香山地区全体へとひろげ、地域活性化に寄与する

連携にいたる経緯

2017年から浅香山地区で精神病患者の居場所作りを目指すNPO法人 kokoimaと連携し、浅香山商店街の活性化に取り組んでいる。これまで、地域コミュニティとの夏祭り共催、学生が運営する子供スポーツ教室、学習支援をきっかけにした子供の居場所など学生による子ども支援を中心に実施してきたが、これらの成果をさらに発展させるとともに、近年喫緊の課題となっている防災活動などにも取り組むこととなった。

活動内容

【浅香山でらこや】

堺市内の小学生を対象に、放課後の学童保育に行くことができない子どもや家庭で居場所がない子どもの居場所作りとして、NPO法人 kokoimaのスペースを借り、大学生と一緒に学校の宿題や塾の課題を勉強し学習支援を行っている。

【あたらしいあそびの場】

通常のスポーツ教室とは異なり、スポーツが得意な子どもも苦手な子どもも楽しく遊びながら体力向上をはかるもの。普段は屋内でゲームなどをして遊ぶことが多い子どもたちでも、自由にからだを動かし遊ぶことができる機会があると、驚くほどの体力や持続力を示している。

【関大防災運動会】

地域住民の災害対応能力を向上することを目的に、地域連携型防災イベントとして学生が企画運営を行い2019年7月28日に実施。これまでの防災行事は、防災訓練や救急安全講座など「防災」というイメージを前面に押し出したものが多く、子どもや防災に関心がない人が気軽に参加できるものではなかったが、「防災」だけではなく「スポーツ」というアクティビティ要素を追加したことで、家族で楽しみながら防災に関する知識を身に付けてもらうことができた。



活動の成果

- 1 【あたらしいあそびの場】同年代の子ども同士が関わることで、精神面での成長に繋がり、人間関係を円滑に進める上で必要なコミュニケーション能力を身に付けてもらうことができた
- 2 【関大防災運動会】地域の多様な人たちが主体的に参加することで、防災活動の重要性について認識するようになり、防災に対する意識も変化し前向きに取り組もうという姿勢がうかがえた

今後の課題・目標

- 1 【浅香山でらこや】こうした場所を必要としている子どもたちを募ることは難しいため、子どもたちが気軽に訪れることができるよう工夫していく
- 2 【あたらしいあそびの場】保護者から、子どもの成長が目に見えて実感できたという意見をいただくことができたため、今後も子どもたちに身体を動かす楽しさを知ってもらう活動を続けていく
- 3 【関大防災運動会】スポーツ×防災のイベントは参加者の自助・共助を高めることに繋がり全国でも例のないユニークな取り組みなので、今後もより多くの参加者を募って継続していきたい

教員紹介



■ 人間健康学部 教授

村川 治彦

Haruhiko Murakawa

村川ゼミでは、社会の多様な人々と交流しながら地域に貢献する活動を通して、スポーツ等で培ってきた経験を、社会にでて様々な分野で活躍できる実践知へと一般化していく。



■ 人間健康学部 教授

安田 忠典

Tadanori Yasuda

人間健康学部では、レクリエーション、ファシリテーション等のトレーニングをしている明るくユーモアあふれる学生たちが実際の経験の場を求めており、そんな若い力を求めている現場とコラボが可能。